

柑橘新品種「秋山ネーブル」の特性について

高橋健二

三豊郡高瀬町で発見された白柳ネーブルの変異種と考えられる秋山ネーブルの特性について調査した。調査は1975～1978年の4年間にわたって行った。

1. 樹はやや矮性で,着花量が多く,隔年結果性が少ない豊産性である。
2. 果実は果面が極めて平滑で,果皮の着色は早く濃橙色となる。異形はやや縦長で,外観はとくに良好である。
3. 果実の内容では,1果平均重が230g前後の中果系であるが玉揃は良好である。白柳ネーブルに比較して,果肉歩合,果汁歩合はやや低いが,クエン酸含量が0.2%程度低い早熟性のネーブルであると考えられる。
4. 以上の特性は原木から採穂して高接した農試府中果樹研究所と観音寺市の両地区でも一致した結果が認められた。